



広報

Nakadomari PR Magazine

なかどまり

9月

SEP 2015 No.126

よさこい中里

なかどまりまつり



【スポットライト】

徐福まつり

健やか野球大会

【まちの話題】

中里地域に新ALT就任

イメージキャラクターとダンス

【お知らせ】

国勢調査のお知らせ

敬老会バス送迎時間

狂犬病予防注射



海上パレード



太刀振り



小泊音頭



子どもたちのダンス披露



抽選会で大当たり

2015 なかどまりまつり

■8月10～11日 中里地区
■8月14～15日 小泊下前地区

14日からは、小泊・下前地区でまつりが始まり、海上パレード、ねぶた運行、太刀振り、流し踊り、船こぎ競争、海上相撲、カラオケ大会などが行われました。

2日目の下前地区では、こども園こまりの遊戯が会場を沸かせました。抽選会では、豪華賞品が登場すると、みなさん自分の番号が呼ばれるようにと願っていました。

今年は平日の開催となりましたが、どの会場も帰省した家族連れなど多くの来場者が集まり、にぎわいをみせていました。



海上相撲



舟漕ぎ競走



会場の様子



カラオケ大会

今回の「なかどまりまつり」中里地区は、2日間とも快晴に恵まれ、伝統のなにもささ流し踊り、ねぶた運行は昨年の分を取り戻そうと例年以上に盛り上がりました。

2日目の「よさこい中里」では、4チームが参加。地元チームと大学生チームの気迫のこもったパフォーマンスに観客たちは、魅了され、大きな拍手を送っていました。

フィナーレの花火には大きな歓声があがり2日間を締めくくりました。



大迫力のねぶた



なにもささ流し踊り



子どもたちのダンス披露



中里三味線会



よさこい中里



ビンゴ大会で大当たり

伝説の長寿食と未来へつなぐ交流ロマン

第3回 中泊徐福まつり

今年で第3回目となった「中泊徐福まつり」。心感・食感・体感イベントを中心に、8月23日(日)下前徐福公園で開催されました。

■体感イベント

「徐福フォーラム」へ講演と郷土芸能発表へ
網おこし保存会による囃子、下前婦人会の徐福音頭、小泊婦人会による小泊音頭、中里三味線会の曲弾きや民謡、健康ダンス「べえ子ちゃん」がダンスを披露しました。
続いて「未来へつなぐ中泊徐福学」と題し、歴史を語る会長で徐福研究家である柳澤良知氏が基調講演を行いました。



べえ子ちゃん

徐福像の前で講演する柳澤良知氏



どの団体も大行列

■食感イベント「海山食感グルメグランプリ」

徐福が伝えた「食」をキーワードに町のグルメを選び、8団体が参加し、それぞれ地元産物を活用したメニューを来場者が試食。おいしいと思う団体に投票しました。今年は数を増やし限定250食の試食品を用意しましたが、予定時間を待たずに品切れとなる人気ぶりでした。

○小泊くわーまん：徐福カレー ○津鉄応援直売会：ブルーベリーゼリー ○下前婦人会・漁協婦人部：イカめし ○徐福の里物産直売所：エビカッパバーガー ○道の駅こどもり「ポイントマリ」：海峡ドック ○こどもり新鮮朝市実行委員会：いくら丼 ○小泊漁協婦人部：海鮮お好み焼き ○小泊婦人会：徐福汁

■心感イベント

「徐福交流津軽半島音楽祭2015」
徐福が伝えたであろう「音楽」が時を越え、現代人の心を癒すクラシック音楽祭を地域に関わる人たちの力で開催。オープニングは、金木中学校による吹奏楽演奏、続いて地元下前地区出身の青森大学准教授である白岩貢氏のコンサート、中里中学校の吹奏楽演奏を行いました。最後は町イメーজキャラクターのイカリんと米ケルJr.がダンスを披露し会場を沸かせました。参加者たちは手拍子と一緒に歌ったり踊ったりして音楽祭を楽しんでいました。



白岩貢氏



中里中学校吹奏楽部

大会初の完全試合も

第11回中泊町健やか少年野球大会

「若い芽を健やかに伸ばそう」を大会スローガンに、7月28日(火)・29日(水)の2日間、小泊ふれあい運動場で、第11回中泊町健やか少年野球大会が行われました。大会には、小学校の部5チーム(武田クラブ、NSゴールドスターズ、小泊イカーズ、金木クラブ、栄クラブ)、中学校の部3チーム(中里・小泊中、車力中、金木中)が参加しました。2日間とも晴天に恵まれ、球児たちは日頃の練習の成果を発揮しようと試合に臨みました。

晃雅君が「小泊イカーズにとって最後の夏、仲間と野球ができる喜びをかみしめ、試合に臨みます」と元気よく選手宣誓しました。試合は、NSゴールドスターズが武田クラブに勝ち、優勝しました。中学生の部は、3チームの総当たりで行われ、金木中が1勝1分で2年連続の優勝を果たしました。また、中里・小泊中の前田快人投手が車力中との試合で大会初の完全試合を達成し、観客を沸かせました。



元気に選手宣誓



チームのために力投



女子も負けていません



中学生の力強いスイング



たくさんの応援



完全試合を達成した前田投手

イメージキャラクターと一緒にダンス 絆でつながる家庭教育支援セミナー

米ケルたちと一緒にダンスを踊ろうと、県総合社会教育センター主催の「米ケル・イカリん・米ケルJr.とダンシング♪ 中泊クイズもあるよ～」が、7月25日(土)に町総合文化センターパルナスで行われ、子どもから大人まで約150人が参加しました。

講師の高杉牧子さんから「恋するフォーチュンクッキー」の振り付けを教わり、みんなで練習をしました。その後、米ケルたちと一緒にダンシング♪。みんな楽しく踊りました。参加者は「気持ちのいい汗をかいだ。今度米ケルたちが踊るときと一緒に踊りたい」と話していました。ダンスが終わった後は、中泊クイズを行いました。町に関することや米ケルたちについて○×形式で出題され、参加者は知っていそうで知らないクイズに頭を悩ませながら楽しんでいました。



優勝目指して特訓 米ケルが伊勢ヶ濱部屋の合宿に出稽古

町イメージキャラクターの米ケルが8月19日(水)、五所川原商業高校の相撲場で夏合宿を行っている伊勢ヶ濱部屋へ出稽古に行きました。この日は、序二段の一富士さんから四股、すり足、テッポウ、ぶつかり稽古を教わり、土まみれになりながら激しい稽古をこなしました。米ケルは、9月21日(月)につがる市で行われる「全国ゆるキャラすもう大会」へ出場し、優勝を目指してがんばるそうです。

奥津軽の歴史を知ろう 駅ナカ空間でおやこ教室

観光カリスマ角田塾の角田周さんが、地域の親子を対象に奥津軽の歴史を知ってもらおうと8月19日(水)、津軽中里駅の駅ナカにぎわい空間で「小学生のための奥津軽おやこ教室」を行いました。約30人の親子が参加し、「少年太宰と津軽鉄道」をテーマに、住民ティーチャーの荒関勝康さんから少年太宰について、イラストをみながら説明を受けました。その後、津軽半島観光アテンダントの小枝美知子さんから津軽鉄道について教えてもらいました。参加した子どもたちは「大人の太宰治しか知らなかった。子ども時代もすごかったと聞いて自分もがんばろうと思った」と話していました。



しました。今回、住民の行うコミュニティ活動を推進し、健全な発展を支援する宝くじ助成金を活用して「ガソリン発電機、携行缶、投光機、コードリール、ストーブ、移動式のかまど」が整備されました。この助成金は、全国自治宝くじの社会貢献広報事業として宝くじの受託事業収入が財源になっています。今後、永坂幸男会長を中心に防災訓練などの各種活動が展開されることになります。

常日頃からの防災態勢を強化

下前地区自主防災会が宝くじ助成金で防災備蓄品購入

このたび下前地区自主防災会は、地域防災力の向上を図るため、防災備蓄品を購入しました。この地区は4年前に発生した東日本大震災以降、防災・減災に対する意識が高まり、「自分たちの地域は自分たちで守る」と心一つに団結し、平成26年4月に小泊地域で初の自主防災組織が誕生

非行防止に尽力 荒関正男氏が少年補導栄誉銅賞受賞

少年補導協力員の荒関正男氏(派立中)が、7月23日(木)役場を訪問し、小野町長に全国少年警察ボランティア協会より少年補導栄誉銅賞を受賞したことを報告しました。荒関氏は昭和63年から少年補導協力員として活動し、長年の地域貢献が評価されました。

表彰を受けて荒関氏は「これまでも賞をもらってきたが、全国は初めて。これを励みに、70歳の定年まで少年の非行防止を呼びかけ、様々な活動に邁進していきます」と抱負を述べました。町長からは「今後ともこれまで同様に少年補導協力員として非行防止を続けていただきたい」と話していました。



東北大会優勝、全国大会へ 中里中・野上さんが町長を訪問

中里中学校の野上莉来奈さん(薄市上)が8月7日(金)に小野町長を訪問し、東北中学校柔道大会優勝と全国大会出場の報告をしました。

それを受けて、町長は「とても素晴らしい結果だ。この調子で全国大会もがんばってほしい」と激励しました。野上さんは「全国大会はより厳しい試合が待っていると思う。気合いを入れてがんばりたい」と意気込みを伝えました。

中泊町での生活が楽しみ 新ALTのマイケル先生が町長を訪問

中里地域の新しいALT(外国語指導助手)に就任したマイケル・スミス先生が、7月29日(木)小野町長を訪問しました。小野町長は、「よく中泊町に来てくれました。当町の米ケルとも仲良くして欲しい。中里地域の子どもたちをよろしくお願いします」と話しました。

マイケル先生は、アメリカ合衆国・カリフォルニア州のサンディエゴ出身で「中泊町は故郷と雰囲気が似ていて好きになりました。早く子どもたちに会いたい」と話していました。



10年連続砲丸投げ1位！ 市川浪晋司氏が町長を訪問

市町村対抗青森県民体育大会陸上競技で10年連続第1位となり、同大会から表彰状を授与された市川浪晋司氏(薄市上)が8月13日(木)、小野町長を訪問し報告しました。

町長は「1位をとることはもちろんだが、それを10年も続けたことがすばらしい」と話しました。

市川浪さんは「これからも1位を取って記録を伸ばしていけるようがんばりたい」と抱負を述べていました。



図書館で職業体験

明の星短期大学からインターンシップ

明の星短期大学1年生の木村拓哉さん(上高根)が、8月10日からの3日間、中泊町図書館へ職場体験にきました。カウンター業務をはじめ、資料を提供できる形にするまでの装備業務や本の修理など、図書館の日常的な実務を体験しました。

木村さんは「思っていたよりも図書館の業務は種類が多く、丁寧に本を扱わなければいけないので大変だった。この体験をこれからの学生生活や進路に生かしていきたい。」と笑顔で話していました。



かわいい金魚ができました

中央公民館で金魚ねぶた絵付け体験

7月26日(日)に中央公民館では金魚ねぶた絵付け体験を行いました。講師は町内の鍋田元氏にお願いし、受講者は小学生3人と中学生1人、大人1人となりました。

金魚ネプタの骨組みに張り付けた和紙にかわいらしい顔を描き、そして赤青黄色などの色を塗り、世界で一つの金魚ねぶたを完成させました。この金魚ねぶたは静和園まつりでテントに飾られ、祭りの一役を担いました。



目指せ新記録!

第1回なかどまりっ子水泳記録会

8月23日(日)に中泊町B & G海洋センターで、第1回なかどまりっ子水泳記録会を開催されました。

日頃、B & G海洋センターを利用している町内児童のみなさんが自分の実力を試すため、25mビート板キック種目や25m自由形種目に挑戦し、最後まであきらめずにゴールを目指して頑張りました。

最後には出場者でリレーメンバーをつくり、タイムを競って楽しみました。



巨大なスイカができました

長利さんの畑で収穫

長利和夫さんが、津軽中里駅の近くの畑で巨大なスイカを収穫しました。重さは30kgを超え、一人では持ち運べない大きさでした。

長利さんは「7、8年スイカを作ってきたが、こんなに大きいものは初めてだ。切るのがもったいない」と笑顔で話していました。



炭の良さを広める

炭窯づくり講習会

炭について知ってもらおうと、8月4日(火)に合同会社ツリーワークの炭小屋で炭窯づくり講習会が行われ、約50人が参加しました。

講習会では、弘前大学農学生命科学部の松本助教から「炭入り堆肥」について、東京大学農学部の谷田貝名誉教授から「炭について」の講演が行われ、参加者らは意外な炭の効果に驚いていました。最後は、製炭指導員の千田篤さんが炭窯づくりの実技を行いました。炭窯の土台の中に入り窯の大きさを体験していました。



米ケルたちとジャンケンポン!

こども園こどまりで夏まつり

園児・保護者・家族・園職員の交流を目的に8月1日(土)こども園こどまりで夏まつりが開催されました。夏まつりは園児や保護者だけでなく、今年卒業した小学校1年生も招待され、会場はたくさん子どもたちでいっぱいになりました。始めに、園児によるダンスが披露され会場は盛り上がりました。その後、園庭にでると町イメージキャラクターの米ケルたちが出迎え、子どもたちとジャンケンをして遊びました。子どもたちは、アイスや焼きそばを食べ、最後はみんなで小泊音頭を踊りました。



安全運転をお願いします!

グループホームさくら利用者が呼びかけ

グループホームさくら利用者が、7月27日(月)奈良建材店前交差点で、通行するドライバーたちに交通安全を呼びかけました。

この日は手づくりのマスコットほか、交通安全のパンフレットを配布しました。ドライバーたちは、「ご苦勞様、ありがとうございます。安全運転します」などと利用者に声をかけていました。



迫力のレース

東北・北海道馬力大会

東北・北海道馬力大会が8月2日(日)、尾別の津軽開発協同組合ペレット工場の敷地で行われ、馬の愛好家約500人がレースを楽しみました。

この大会には、県内や北海道から約70頭が参加。年齢や馬体の大きさなどの各部門にわかれ、坂がある約200mのコースを駆けました。馬の引く重りは最大260貫(約千キロ)で、威勢のいい掛け声とむちで気合を入れられた馬が、レース終盤の坂を一気に駆け上がると会場には歓声と拍手が起きました。



町からのお知らせ

8月号の訂正とお詫び

広報なかどまり8月号5ページのホタルまつりの記事で「会長・荒関壽一」と記載しましたが、正しくは「会長・荒関壽久」です。
ご本人はじめ関係者のみなさんに大変ご迷惑をおかけしました。お詫びし、訂正させていただきます。
〈広報係〉

中泊町「特別養護老人ホーム」整備運営事業者決定について

問 役場福祉課介護保険係 内 123

町が公募した特別養護老人ホーム整備運営事業者について、選考した結果、次の事業者に決定したのでお知らせします。

■社会福祉法人 向明会

法人住所 中泊町大字尾別字小谷26-1
なお、選考された法人につきましては、平成28年度中に新しく施設を整備し、平成29年度からの開設を目指します。



教育委員会では、文化の日になみ、次のとおり町民映画会を開催いたします。ご近所お誘いあわせのうえ鑑賞ください。(小泊地域はバス運行あり)
■日時…11月3日(火)文化の日 13時30分上映
■場所…総合文化センター「パルナス」ホール
■上映作品…いのちの山河(120分)
■チケット…前売券500円(当日800円)
※チケットは町役場総務課・小泊支所・中央公民館・パルナスで販売しています。
問…教育委員会社会教育課 TEL69-1112 内13

国民健康保険被保険者証の 一斉更新について

問 役場町民課国民健康保険係 内 133

平成27年10月1日は国民健康保険被保険証(以下、保険証)の一斉更新日です。新しい保険証は9月下旬に町民課国民健康保険係から世帯主宛に簡易書留で郵送されます。

配達時に不在の場合、郵便受けに不在票が投かんされますので、案内にしたがって手続きの上、保険証を受け取ってください。なお、9月30日になっても不在票が確認できない場合や、不在票の手続きで保険証の受け取りができない場合は国民健康保険係窓口にお越しください。

古い保険証は10月1日以降、ハサミを入れて捨てるか、町民課国民健康保険係窓口に戻還してください。

※国保税を滞納している場合、保険証は郵送されませんので、ご注意ください。
※9月下旬時点で世帯主住所に不在の方は、郵便局で転送の手続きを取ってください。

平成27年度 親子すくすく スキンシップ事業

問 青森県子ども家庭支援センター
☎ 017-732-1011(10:00～17:00 水曜日休館)

青森県子ども家庭支援センターでは、親子を対象にして簡単にできるおもちゃ作りを、保育教諭や保育士を対象に表現遊び、つながり遊び等の実践的なワークショップを行います。
講師は、多田純也氏(舞台実演家、表現活動インストラクター、岩手県出身)で参加無料です。この機会にスキルアップしてみませんか。

①親子対象

『ただじゅんのつくってあそぼう 手作りおもちゃ』

日時…10月10日(土) 午前10時～11時30分
対象…乳幼児～小3までの親子 定員30名
場所…中泊町総合文化センター「パルナス」
その他…託児無料(先着5名、10月3日㍻切)

②保育士・指導者等対象

『あそびの講座 ただじゅんのあそびっこ』
日時…10月10日(土) 午後6時～7時30分
対象…保育士・保育教諭・幼稚園教諭・子育て支援関係者 定員20名
場所…中泊町総合文化センター「パルナス」

中泊町役場 ☎57-2111
小泊支所 ☎64-2111

平成27年10月1日 国勢調査を行います

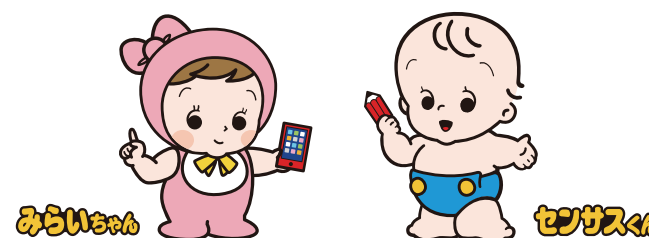
問 役場総務課企画係 内 118

5年に1度行われる国勢調査は、日本国内に住むすべての人と世帯を対象とする、国の最も重要な統計調査です。

人口や世帯について明らかにし、行政の基礎資料として活用されるほか、大学や企業など幅広い分野で私たちの暮らしに役立てられます。

今回の調査から、インターネットに接続可能なパソコン、タブレット端末、スマートフォンからも回答ができるようになります(従来どおり、紙の調査票でも回答可能です)。

9月上旬から10月中旬にかけて、町内すべての世帯へ調査員が訪問します。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。



■総務省統計局 国勢調査 2015キャンペーンサイト
<http://kokusei2015.stat.go.jp/>

9月21日 敬老会送迎バス 小泊地域から運行します

問 役場福祉課福祉推進係 内 122

出発時刻は次のとおりです。どうぞご利用ください。

9月21日(月)

小泊老人憩いの家 8:40
→小泊漁協前 8:45
→下前上バス停前 8:55
→下前漁協前 9:00
→折戸バイパス停留所 9:05
→町体育センター着 9:40

帰りは、午後2時の予定です。

平成27年度下半期 犬の登録と狂犬病予防注射

問 役場環境整備課衛生係 内 234
問 小泊支所 ☎ (64)2111

下半期の犬の登録と狂犬病予防注射を実施します。まだ登録及び注射をしていない犬の飼い主は、都合のよい場所で受けてください。

すでに犬の登録をしていますが、まだ狂犬病予防注射を受けていない場合は、ハガキで通知します。
○登録料(新規)…1頭につき3,000円(一生に1度限り)
○注射料…1頭につき3,100円(年1回接種)

■日程

月日	地域	実 施 場 所	実 施 時 間
9月27日(日)	中里地域	町 役 場 前	8 : 40～ 8 : 50
		福 社 セ ン タ ー 前	8 : 55～ 9 : 05
		宮野沢研修センター前	9 : 10～ 9 : 20
		深 郷 田 深 寿 荘 前	9 : 25～ 9 : 35
		大沢内克雪センター前	9 : 40～ 9 : 50
		豊島農村婦人の家前	9 : 55～10:05
		武 田 公 民 館 前	10:10～10:20
		豊 岡 和 栄 会 館 前	10:25～10:35
		田茂木防災センター前	10:40～10:50
		尾 別 老 人 憩 の 家 前	10:55～11:05
		旧グループホームやすらぎの里前	11:10～11:20
		元 竹 田 協 和 分 校 前	11:25～11:35
	若宮保健福祉館前	11:40～11:50	
	内 潟 公 民 館 前	11:55～12:05	
今 泉 泉 寿 荘 前	12:10～12:20		
小泊地域	小泊保健センター前	13:30～13:40	
	新町1 久保田敏則宅前	13:45～13:55	
	上 町 角 田 石 油 店 横	14:00～14:10	
	小 泊 支 所 前	14:15～14:25	
		下 前 漁 協 前	14:35～14:45

*都合により実施場所へ来られない人は、内容によっては出張に応じることも可能です。役場環境整備課または小泊支所へご連絡ください。

※希望する人は、適当な入れ物(ペットボトルなど)を持参してください。

■配布期間
10月30日(金)まで

○小泊地域
旧商工会前車庫、
すくすくしたまえ館

○中里地域
武田公民館

■配布場所

E M 活性液を希望者に無料提供します

問 役場環境整備課衛生係 内 234

つながり！ 中泊オレンジの∞輪∞



あなたの周りに、最近物忘れがひどくなった、同じことを何度も言ったり聞いたりするようになった、物を盗られたと話す……そのような人がいませんか？ もしかしたら“認知症”の症状かもしれません。

そのような人達が、中泊で暮らし続けるためには、地域住民の皆さま一人ひとりの協力と理解が必要です。

認知症サポーター養成講座とは、認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族を見守るための住民・企業



認知症サポーターは認知症の人やその家族を支え見守る応援者です。

従業員・学校向けの認知症のミニ学習会のことです。共通のパンフレットやビデオ教材を使い、1時間程度の学習会を行います。

この学習を受けた人にはオレンジリングが配られ、“認知症サポーター”として、自分ができる範囲の「応援者」となります。何か特別なことをするのではなく、認知症について学んだことを家族や友人に伝えたり、認知症の人や家族の気持ちを理解しようとするボランティアです。

誰もが認知症になり得る可能性があります。あなたも一緒に認知症の人を支え見守るために、この講座を受講してみませんか？ ご連絡お待ちしております。

■対象…中泊町に在住の人

町内会、婦人会、学校PTAや民生委員、地域住民の集まりなど

■料金…無料

■その他、開催にあたっての必要事項などはお問い合わせの際、お伝えいたします。

【お問い合わせ先】

中泊町地域包括支援センター(体育センター内)

☎：57-3601 Fax：57-3602

※開催予定の1ヵ月前までに電話または来所で連絡をお願いします

心配ごと相談 町社会福祉協議会

中里地域	小泊地域
9月24日 成田 寛、山本 弘	9月16日 長内エツ子
10月14日 近村 敦、菊池 俊一	秋田谷徳美
相談場所 役場相談室 相談時間 午前9時～正午	相談場所 日本海漁火センター 相談時間 午前9時～正午

※4月より相談時間の終了時間が「14時」→「正午」となりました。大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

なんでも行政相談

日時…9月29日(火) 午前9時～12時

場所…日本海漁火センター

行政相談委員…秋 元 武 弘、藪田由比子

※行政相談は、住民から寄せられた苦情や意見・要望を、住民と関係行政機関との間に立って、公正・中立な立場から必要なあっせんを行い、その解決や実現の促進を図ります。

法人県民税・法人事業税・地方法人特別税の申告には電子申告が便利
 間 西北地域県民局県税課
 ☎ (34) 2111 内 208

青森県では、インターネットによる法人県民税・法人事業税・地方法人特別税の電子申告受付を行っています。

電子申告には次のようなメリットがありますので、ご利用ください。

①オフィスや自宅のパソコンから申告できるので窓口に出向く必要がありません。
 ②複数の地方公共団体へ申告がまとめて一度にできます。

9月30日は

固定資産税 3期

国民健康保険税 3期

の納期限です。
 忘れずに納めましょう。

※口座振替をされている人の引き落とし日は9月25日(金)です。残高をご確認ください。

※町税の納付は便利で安全
 確実な口座振替をご利用ください

内 役場税務課課税係
 144-146

津軽半島大集合2015

間 津軽半島北部地域観光推進実行委員会
 ☎ (34) 2175

平成27年度末の北海道新幹線奥津軽いまべつ駅開業に向け、津軽半島10市町村の食や郷土芸能、祭りなどを集めたイベントを開催します。

■入場…無料

■日時…10月10日(土)、11日(日)
 午前10時～午後3時

■場所…立佞武多広場
 (五所川原市)

定例労働相談会の開催

間 青森県労働委員会事務局
 ☎ 017(734)9832

当委員会では、個々の労働者と事業主との間に生じた労働条件などのトラブルに関する紛争の迅速かつ自主的な解決を促進するため「あつせん」を行っています。「あつせん」の一環として毎月第1火曜日に労働相談会を開催していますのでご利用ください。

①日時…10月6日(火)

13時30分～16時
 場所…青森市アスパム

②日時…11月5日(木)
 13時30分～15時30分

場所…青森県労働委員会
 (県庁向かいみどりやビル)

③日時…12月1日(火)
 13時30分～15時30分

場所…青森県労働委員会

全国一斉！法務局休日相談所

間 青森地方法務局五所川原支局
 ☎ (34) 2330

当局では、法務局が所掌する登記、戸籍・国籍、供託、人権などに関する特設の無料相談所を開設します。

相談は予約優先先生で一人につき30分以内です。事前に電話で予約をお願いします。

■開催日時…10月4日(日)
 午前10時～午後3時まで

■会場…青森地方法務局五所川原支局

■相談内容…土地建物の登記、相続、境界、国際結婚、離婚、家賃等の供託、遺言、近隣とのトラブル、お年寄りや子どもに対するいじめなど

■担当者…法務局職員、弁護士、司法書士、土地家屋調査士、人権擁護委員
 予約や詳しい内容は問合せ先まで。

10月1日～7日は「公証週間」です！

間 青森公証人合同役場
 ☎ 017(776)8273

公証人は、国の一機関として、地域住民の財産などの権利や生活を守り、中立・公正な立場で、トラブルを未然に防ぐために活躍しています！

また、法律の専門家である公証人が作成する公正証書は、公文書であり、大切な権利を守り、その迅速な実現を目的としています。

公証人の主な業務は、次のとおりです。

○公正証書で契約書を作って、大切な財産を守ります。
 ○公正証書で遺言を作って、大切な人に遺産を譲ります。
 ○公正証書で養育費の給付契約書を作って、子どもの将来を守ります。
 ○任意後見契約書を作って、老後の安心を確保します。
 ○定款認証で適法な会社を設立します。

手数料は法定されていますので、安心してご利用いただけます。公証事務に関する相談は無料です。いつでも気軽ににご相談ください。

広告

中泊町合併10周年記念

梅沢富美男劇団 中泊町特別公演

開催日 2015年10月25日(日)

会場 中泊町総合文化センター『パルナス』ホール

全席指定 4,000円(税込)

昼の部 / 12:00～(開場11:30)

夜の部 / 17:00～(開場16:30)

[第一部] 人情時代劇
 [第二部] 梅沢富美男オンステージ
 [第三部] 夢の舞踊絵巻

主催 中泊町・富美男企画 / 主管 株式会社アクトプラン

お問い合わせ 株式会社アクトプラン TEL0173-57-5720

チケット販売 北津軽郡中泊町大字八幡字日向334 中泊町農村活性化施設内



町有財産の貸付について

☎ 役場財政課管財係 ☎ 224

1. 一般競争入札に付する貸付物件

◇旧特産物直売所「ピュア」

- ・建物 延床面積 261.67㎡
- ・土地 1784.37㎡

2. 説明会及び入札の日時・場所

○説明会：平成27年9月30日(水) 午前10時
中泊町役場 2階 研修所

○入 札：平成27年10月9日(金) 午前10時
中泊町役場 2階 研修所

※説明会時に入札参加の受付をします。受付していない人は入札に参加できません。

3. 契約及び貸付使用料など

現場説明会及び公告でお知らせします。

4. 入札参加資格

次に掲げる要件を満たす者であること。

- ①個人の場合は、中泊町に住所を有する者とする。法人の場合は青森県に本店又は支店若しくは営業所を有し、町税(中泊町に対して納税義務のあるものに限る。)並びに法人税、所得税、消費税及び地方消費税を滞納していない者であること。
- ②地方自治法施行令167条の4第1項に規定する者に該当しないこと。
- ③中泊町財務規則(平成17年3月中泊町規則第62号。以下「財務規則」という。)第119条第1項の規定による一般競争入札に参加できない者でないこと。
- ④会社更生法(平成14年法律第154号)に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法(平成11年法律第225号)に基づき再生手続開始の申立てがなされている者でないこと。
- ⑤暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団その他の反社会的団体及びそれらの構成員並びにこれらのものから委託を受けている者。

保健センターから

講演会のお知らせ

西北五地区精神障害者家族学習交流会がパルナスで行われます。午前の部では、県立中央病院から、小野正人医療管理監を講師に迎え、講演会を行います。どなたでも来場可能ですので、ぜひお越しください。

■日時…9月17日(木) 10:20～11:30

■会場…総合文化センター パルナス

■講演会…テーマ『健康習慣でこころも体もスッキリ!』
〈講師〉青森県立中央病院 医療管理監 小野正人先生

こころの健康づくり講演会のご案内

次の日程で健康教室を行います。今回のテーマは女性の健康です。年齢とともに変化するからだ、そして家庭での役割。私たちのこころの健康は、常にからだや生活の状態と隣り合わせ。今回は、女性の生涯にわたる健康について、産婦人科医の加藤充弘先生を講師に迎え、お話しいただきます。健康づくりにお役立て下さい。

■日時…10月8日(木) 14:00～15:00

■会場…中里保健センター

■講演会…テーマ『女性の健康とメンタルヘルス』
〈講師〉加藤レディースクリニック(つがる市) 院長 加藤充弘先生

大腸がん検診のお知らせ

次の日程で大腸がん検診を行います。検診を希望される方は保健センターにお申し込みください。検体容器を送付します。

■日時…10月14日(水) 8:30～11:30

■会場…中里保健センター・小泊保健センター

■申込締切…9月30日(水)

※当日、来場できない方はご相談ください。

入 校 生 募 集

☎ 弘前高等技術専門学校 ☎ 0172-32-6805

平成28年4月入校生の一般試験を下記のとおり実施します。

■募集科名及び定員

- ・自動車システム工学科 20人
- ・建築システム工学科 20人
(訓練期間2年)

■応募資格

学校教育法による高等学校卒業者(平成28年3月卒業見込みの者を含む)又はこれと同等以上の学力を有する者

■願書受付期間

10月5日(月)～11月20日(金)

■試験日…12月3日(木)

詳しくは問合せ先まで。

後期高齢者医療費保険者の皆さまへ

☎ 役場町民課老保年金係 ☎ 134

○ジェネリック医薬品のご紹介

先発医療薬品(これまで使われてきた新薬)の特許が切れた後に、医薬品メーカーが製造・販売する「ジェネリック医薬品(後発医薬品)」は、厚生労働省から「先発医薬品と同じ有効成分を同量含んでおり、(先発医薬品と)同等の効能や効果が得られる」と認められた医薬品です。先発医薬品に比べて薬の値段が3割～5割程度安くなる可能性があります。ぜひジェネリック医薬品をご活用ください。なお、ジェネリック医薬品を希望する場合は、医師や薬剤師にご相談ください。

※ジェネリック医薬品を希望する人は、お薬手帳の表紙に貼付箇所がありますので、役場町民課より配布された「ジェネリック医薬品希望シール」をご活用ください。

詳しくは、青森県後期高齢者医療広域連合(Tel 017-721-3821)または問合せ先まで。

○保険料を納期限内に納めましょう

- ・保険料を滞納すると、通常より有効期限が短い保険証(短期被保険者証)が交付されることがあります。
 - ・天災その他特別な事情で保険料を納めることが著しく困難になった場合は、申請により減免などを受けられることがありますので、お早めにご相談ください。
 - ・納付書でお支払いの人は、便利で確実な口座振替をご利用ください。口座振替への変更は、問合せ先または金融機関で随時受付しております。
- 詳しくは問合せ先まで。

○健康診査を受けましょう

後期高齢者医療制度に加入している人を対象に、1年に1回無料で受けられる健康診査を実施しています。

健康診査の申込および受診の方法

1. 集団健診…平成27年度集団健康診査は、平成27年8月23日をもって終了しました。
2. 個別健診…下表の委託医療機関で、「個別健診」を希望する場合は、保健センターへ申し込みください。後日、「健康診査受診券」を送付しますので、受診券が届いてから希望する医療機関に電話などで予約をしてから受診することになります。

医 療 機 関 名	医 療 機 関 名
中泊おの医院	健生五所川原診療所
中泊町小泊診療所	清水クリニック
駅前クリニック	つがる総合病院
かなぎ病院	富田胃腸科内科医院
川崎胃腸科内科医院	とやもり内科小児科クリニック
櫛引クリニック	増田病院

※【個別健診の可能期間】平成27年5月1日～平成28年2月29日

【健診申込み先】中里保健センター ☎57-3920 / 小泊保健センター ☎64-3748

平成27年度津軽地域障害者就職面接会のご案内
五所川原公共職業安定所専門
援助部門 ☎343171
障害をお持ちの人を対象とした就職面接会を次のとおり開催します。障害者雇用をお考えの事業所、お仕事を探索の障害者手帳をお持ちの人の参加を募集します。
参加を希望される人は、問合せ先までお申込みください。
■日時…10月21日(水) 午後1時～午後3時30分(午後0時30分より受付)
■場所…ホテル・ナクアシティ 弘前(JR弘前駅中央口から徒歩1分)

〈玉掛け技能講習会〉
■日時…10月7日(水)～9日(金) 午前9時～午後5時
■場所 学科…西北労働基準協会
実技…齋勝建設(株)構内
■受講資格…満18歳以上に達し次第締め切ります
※詳しくは、問合せ先まで。

西北労働基準協会講習のご案内
☎(一社)西北労働基準協会
(35)6336



◆「今泉分館」特別一般公開！
お盆の最中、今泉分館では一日限りの一般公開が実施されました。小山内清春・青山兼弘氏

◆特別企画展「門外不出・警察の歴史展」開催のご案内！
秋の交通安全運動に合わせ、明治・大正・昭和初期の制服・階級章・装備品など、警察資料を展示します。



日時：9月21日（月・敬老の日）～30日（水）ただし22・23日の祝日、28日月曜は休館 午前9時～午後4時45分／入館料：無料（常設展は通常料金）

博物館ニコース Museum News VOL.48

頭脳明晰で文才があったため、明治44年（一九一）力士の待遇改善を求めてストライキが決定された、いわゆる「新橋倶楽部事件」の際には力士側の書記役をつとめた。身長一七〇cm・体

◆なかどまり力士列伝2
十三ノ浦金四郎 明治18～大正3年。中里出身の大相撲力士。本名岩田金四郎。東奥義塾在学中の明治36年（一九〇三）初土俵を踏み、明治42年（一九〇九）十両入り、44年（一九一）には入幕を果たした。左四つからの寄り得意とし、入幕三場所目には前頭九枚目へ進んだが、病気のため大正2年（一九一三）には十両へ陥落。翌3年西幕下九枚目を最後に廃業、同年28歳の若さで没した。

ほか地元の人々の協力によって開設した今泉コーナーでは、同地域で生産された木炭や、昔の写真などが展示され、帰省客や卒業生たちでにぎわいました。



当時上高根に「檜山」という名の馬喰がいた。通称「こんて」といい、その子供「万之」は、東京相撲に入門した。上高根で興行相撲が催されたとき、柵之亟が飛び入りして大活躍したので、万之の仲介により18歳で東京相撲入りを果たした。「檜山」の四股名で修行したが、広島興行中に盲腸のため20歳で没した。上高根墓地前面に、高根山金四郎碑と並んで記念碑が建立されている。

重二〇kg。
名小野柵之亟。上高根小野柵次郎の次男に生まれた。大阪相撲力士高根山金四郎の血縁に当たる。青年時代は体が大きく力が強く、北海道や地元で山仕事をこなし、



重二〇kg。

静和園だより

静和園夏まつり開催

7月30日（木）、利用者と家族、地域のみなさんとの交流を目的に静和園夏まつりが、同駐車場で開催されました。当日、日中は30度を超える暑さとなりましたが、夕方には涼しさもでてきました。

今年もまつりを盛り上げようと、中里横笛愛好会、べえ子ちゃん、中里三味線会、夢幻天舞、なにもささ保存会、町イメージキャラクターらが応援にかけつけ、熱気溢れる演奏、演舞を披露しました。利用者たちも、声援を送ったり、手拍子をするなど楽しんでいました。

早食い勝負、ロシアンどらやき、じゃんけん大会などには近所の子どもたちも参加し、会場からは声援や笑い声が上がっていました。また、流しそうめんは子どもたちに大人気で、仲良く並んでそうめんをすくっていました。



寄贈

・加藤鮮魚店様……ご祝儀
・竹内組様……タオル、日用品雑貨、ジュース、扇風機

疑問

・おのきかく 8月20日（休）、メンバー6人が来園しました。「恋の十三湖」など郷土色豊かな歌謡曲を情緒たっぷりに歌いました。当園の方々は只々うっとり聞き惚れて、あっという間の時間を過ごしました。



・薄市こども園 8月27日（休）、年長組18人の園児が来園しました。ダンスや歌を披露した後、入所者と一緒に手あそびを楽しみ、元気な声とはつらつとした姿を見ては「めざいなあ」と何度も話していました。こども達の笑顔から元気を頂き、また来てねと約束していました。



台風や集中豪雨に注意！

台風や低気圧、前線の影響で、大雨・暴風・高波・高潮が発生し、各地で毎年のように風水害による土砂崩れなどが発生しています。最近ではゲリラ豪雨と呼ばれる集中豪雨による被害が多発しています。

大雨による河川の増水や道路の冠水は、予想を超える速さでやってきます。被害を最小限に抑えるためにも、次のポイントをチェックしましょう。

- ①事前に付近の危険箇所を把握しておく。
- ②排水溝の点検（掃除）や土のうの準備をする。
- ③ラジオ・テレビなどで情報収集する。
- ④日頃から避難場所や連絡方法などについて家族と話し合う。



落雷 すぐ避難！

大気が不安定な時に、局地的上昇気流によって積乱雲が発生し、数分後には落雷の危険性があります。雷注意報が発令されている場合、登山やハイキング、海や川での釣りなどは中止しましょう。

また、雷が発生した際、次の場所に避難しましょう。

- ①建物の中に避難する。
- ②自動車の中に避難する。



火事・救急・救助は119番/五消本部病院照会 ☎34-4999/中里消防署 ☎57-2370/小泊消防署 ☎64-2375



中里 ☎(57)3920
小泊 ☎(64)3748

大切にしたい こころとからだ

町では、小学校高学年と中学生を対象に思春期教室を行っています。小学生には、いのちの誕生、中学生には心や身体の変化といのちの尊さを考える機会としています。その中で、産婦人科医の先生から子どもたちに向けてメッセージを頂きました。皆さんにご紹介します。

『大切にしたい』と 『からだ』

～思春期健康教室の中から～
青森県総合健診センター



副診療所長 長澤一磨先生
ぼくは、わたしは、お父さん、お母さんや家族のみんなから望ま

れ、期待されて生まれてきたんだ。そして今、家族や友達、先生とここに居る。これがぼくの、わたしの命だ。ここに居るぼくは、両親、祖父母、さらに遡ると計り知れない多くの先祖の命が繋がり、ぼくの命を生みだしてくれた。そしてぼくは、この

命を次の世代にも繋げて行く責任がある。

今子どもの時期を過ぎ、約10年間という短い思春期という時期を経験、「からだ」も「こころ」も大きな変化を受けながら大人になって行くんだ。その特徴をみると「からだ」では、

- (1)著しい身長伸び：その開始は男11歳頃、女9歳頃
- (2)第2次性徴の発育、発達：男女の性差がはっきり表れてくる
- (3)生殖能の完成：精子形成や排卵がみられ、妊娠の準備が完了
- (4)激しい感情の変化がみられ

「依存」「甘えと従順な気持ち」と「自立」「反抗と攻撃的な言動」がくり返される。

この時期、保護者である親の役目は、子どもの話をよく最後まで聞いてやることであり、子どもが不安で後ろを振り返った時、そこに親がいて「大丈夫だよ」とうなずき、きちんと受けとめてやるのが大切です。

(5)成長の個人差が大きく、不安・不満・劣等感・孤独感などがつきまとう。

特にこの時期は「からだ」の成長・発達と「こころ」の発育が不均衡で「からだ」は大人、「こころ」は知識量は少なく判

断力も未熟なため、しばしば性的逸脱行動に走りやすく、その先には「望まない、予期しない妊娠」があり、その結果は大きく女性の将来に悲惨な結果をもたらすことが多い。本来、男女は同じ夢を持つ「対等な関係」であるべきですが、こと「妊娠」という現実、この上なく不平等で女性の生涯にわたる不幸をもたらします。男の性は、射精（夢精）を経験すると、性的欲求を直接的に充たすための性行動に走り易く、女の性は、好意を抱く男性との連帯、愛情の交換を望む気持ちが強い。

この大きな性差の違いに対し、先輩である私は、男性に対しては「相手をお願いする」「優しさ」を育て身に付け行動して欲しい。女性に対しては「性関係を求められたら、Noと言える」「勇気」を身につけ、発言してほしい」と望みます。

思春期というこの時期、あなた達は、1人ひとりが個性を持ち輝いて生きている。何て素晴らしいことだろう。何て素晴らしい人生だろう。

最後に次の言葉を贈ります。それは『有り難い』です。有る



まちのイベントカレンダー

9 月			10 月		
16	水		1	木	
17	木		2	金	
18	金		3	土	10:00～16:00 図書室開放(小泊地域)
19	土	こども園こども運動会 10:00～16:00 図書室開放(小泊地域)	4	日	
20	日		5	月	10:00～12:00 運動教室(中央公民館)
21	月	10:30～12:00 米寿を祝う集い 特別展「警察資料展(仮題)」 ～9/30まで(博物館)	6	火	
22	火		7	水	10:00～ 北光寿大学室内運動会 異世代交流(小泊中)
23	水		8	木	
24	木	乳児健診(中里保健センター)	9	金	10:00～ 高齢者教室(中央公民館)
25	金		10	土	10:00～16:00 小泊小学校体育館開放
26	土	10:00～16:00 小泊小学校体育館開放	11	日	
27	日	8:40～15:00 狂犬病予防注射 9:00～ 町民グランドゴルフ大会	12	月	
28	月	10:00～12:00 運動教室(中央公民館)	13	火	
29	火		14	水	10:00～12:30 献血(中里高校前) 14:00～16:00 献血(小泊支所前) 14:30～16:30 運動教室(中央公民館)
30	水	10:00～12:00 こころの相談日(保健センター)	15	木	

戸籍の窓口

(7月届出分)



結婚おめでとう！

山田 稀彩 (女・大介) 薄市下	田中 碧琉 (男・宏明) 豊島	外崎 恵真 (女・将健) 宮野沢	田沢 颯 (男・知将) 薄市上	古川 暁人 (男・康平) 向町下	工藤 惺太 (男・誠一) 豊島	久保田 朔人 (男・喬) 新町1									
伏見 祐也 (五林)	芝田 ひかる (愛知県)	三上 晃央 (五林)	大川 明奈 (大沢内)	鳴海 誠 (鶴田町)	前田 怜美 (大沢内)	佐野 友紀 (竹田)	室井 穂 (栃木県)	鈴木 隼人 (田茂木)	畠山 江美 (つがる市)	葛西 和貴 (つがる市)	小松 美佳子 (尾別)	相馬 光佑 (平川市)	毛内 麻友美 (派立下)	工藤 雄人 (下前上)	木村 和香奈 (板柳町)

ジを活用するなど温野菜だと意外に取りやすくなります。

●野菜不足はあとトマト半分不足している100g。具体的には、トマトだと半分、野菜炒めなら皿半分です。

「運動教室のご案内」 一緒に運動をはじめませんか

運動習慣は、身体にうれしい効果がたくさんあります。一人では継続するのが難しい、腰や膝が痛いから……と諦めていませんか？ 無理なく続けられる運動、一緒に始めましょう！

中里地区

- ・会場：中里公民館
- ・日時：毎週1回月・水曜日 心の継続型の教室です

小泊地区

- ・会場：日本海漁火センター
- ・日時：毎週1回火・金曜日 心に10回継続の教室です

*初回は9月18日(金)です

◆講師 健康運動指導士(スタジ オ・アフエクション)

◆お申込み、お問い合わせは各保健センターまで

人のうごき

7月末現在(前月比)

人口	12,033人(-16)
男	5,674人(+1)
女	6,359人(-17)
世帯数	5,182(-4)
出生	8 / 死亡 14
転入	18 / 転出 28



お悔やみ申し上げます

佐々木 正樹 (岩手県)	角田 瑞枝 (下前上)	柏崎 貴人 (下前浜)	高橋 しおり (黒石市)	石郷岡 孝義 (新町1)	今藤 唯菜 (下前上)	工藤 貴徳 (青森市)	荒関 仁恵 (下前浜)				
諏訪 キョエ 91 (派立下)	新岡 榮三 78 (豊島)	大屋 トシ 80 (薄市上)	神田 たまい 89 (上豊岡)	藤本 藤雄 86 (福浦)	塚本 信明 77 (上豊岡)	松谷 勝治 61 (深郷田下)	木村 スヨ 100 (上高根)	小野 義美 64 (下高根)	阿部 幸夫 79 (上町)	藪田 久枝 80 (下前浜)	岩川 久つ 94 (新町2)



お悔やみ申し上げます

今年度20歳を迎えることになる新成人を祝おうと、8月15日(土)総合文化センターパルナスで、中泊町成人式が行われました。

式には対象者132人(男68人、女64人)中、77人(男50人、女27人)が、スーツや華やかなドレスで参加しました。中には、着物や袴姿の新成人もいました。町イメージキャラクターの米ケル、イカリん、米ケ



友人たちで記念撮影



太田南さん

ルJr.も駆け付け、大人の仲間入りを祝いました。

第1部の式典では、成田金春教育委員長職務代理が「今の地域主権の時代を力強く生き、自分の道を切りひらいてほしい」とお祝いと激励をしました。小野町長ら来賓祝辞に続いて、新成人を代表し、太田南(花丘町)さんが「誰かを勇気づけたり支えたりできる大人になる」と誓いの言葉を述べました。

第2部では、恩師からのビデオレターの上映があり、「目標を持ってがんばれ」などとエールが送られました。つづいて、元Jリーガー、元パラリンピック車椅子バスケットボール日本代表の京谷和幸さんから自身の人生についての講演が行われ、新成人たちは真剣な面持ちで聞いていました。

新・ご当地グルメ10万食

メバル膳が10万食目

県内で開発された新・おもてなしご当地グルメである「深浦マグロステーキ丼」「平内ホタテ活御膳」「中泊メバル膳」の3つが8月10日(月)、合計で10万食を達成しました。

記念すべき10万食目は、はくちょう亭奈良屋でメバル膳を注文した三上正彦さん夫婦(今泉上)と孫で薄市小3年の 外崎和葉さん(薄市下)。3人には、メバル膳をプロデュースしたヒロ中田さんから感謝状と記念品が贈られました。

メバル膳を食べた3人は「刺身は歯ごたえがあり、煮付けも美味しかった。親戚が帰省してきたらまた食べにきたい」と笑顔で語っていました。



10万食目を食べる三上さん夫婦と孫の和葉さん

